

## IV 調査結果の概観



## IV 調査結果の概観

### 1. 生活環境の満足度

ここでは、生活環境の満足度（問4）と定住意向（問2）をクロス集計し、定住意向・転出意向を持つ区民の満足・不満足的项目を明らかにしていく。

問2の選択肢を下記に置き換えて集計する。

「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」：定住意向のある人

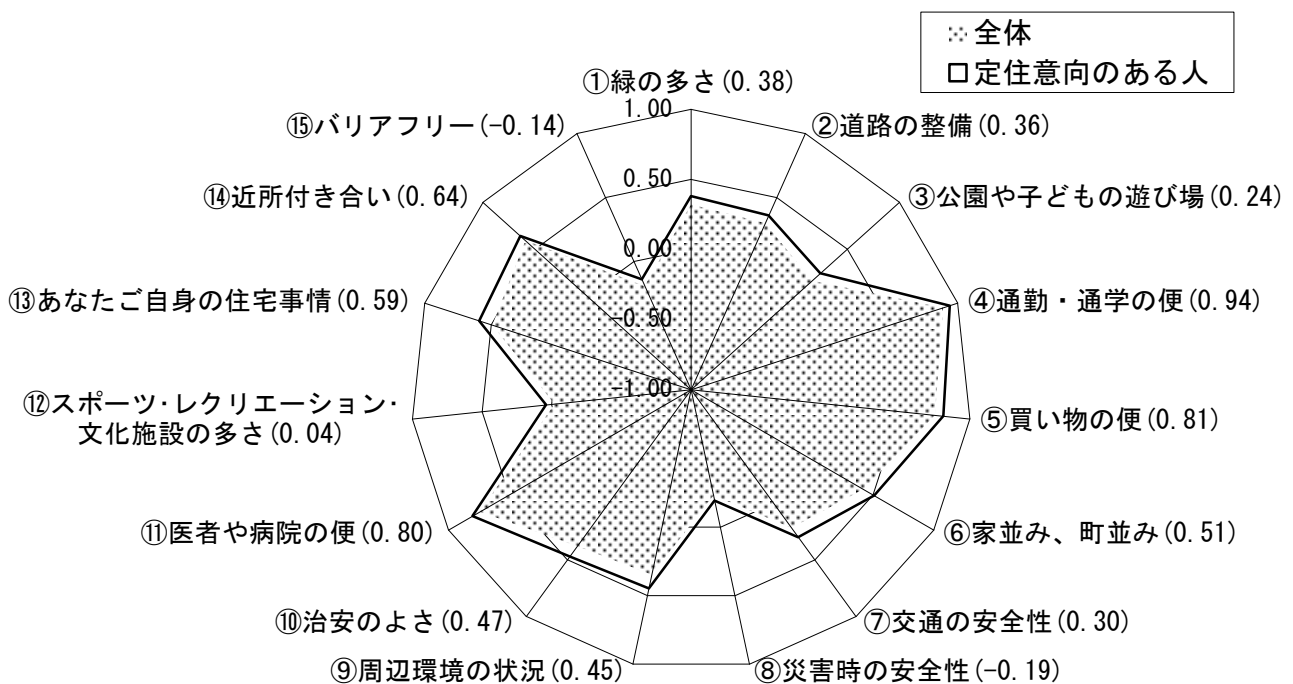
「できれば大田区外へ移りたい」と「大田区外へ移りたい」：転出意向のある人

また、51ページで求めたのと同様に、15項目にわたる生活環境の満足度の比較をやすくするため、それぞれの回答を点数化し、下記の計算式で各項目の評価点を求めた。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{再掲}) \text{ 「満足している」} \times 2 + \text{ 「ほぼ満足している」} \times 1 + \text{ 「少し不満である」} \times (-1) + \text{ 「不満である」} \times (-2)}{\text{回答者数}}$$

#### (1) 定住意向のある人

問2：「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答した人（n=925）

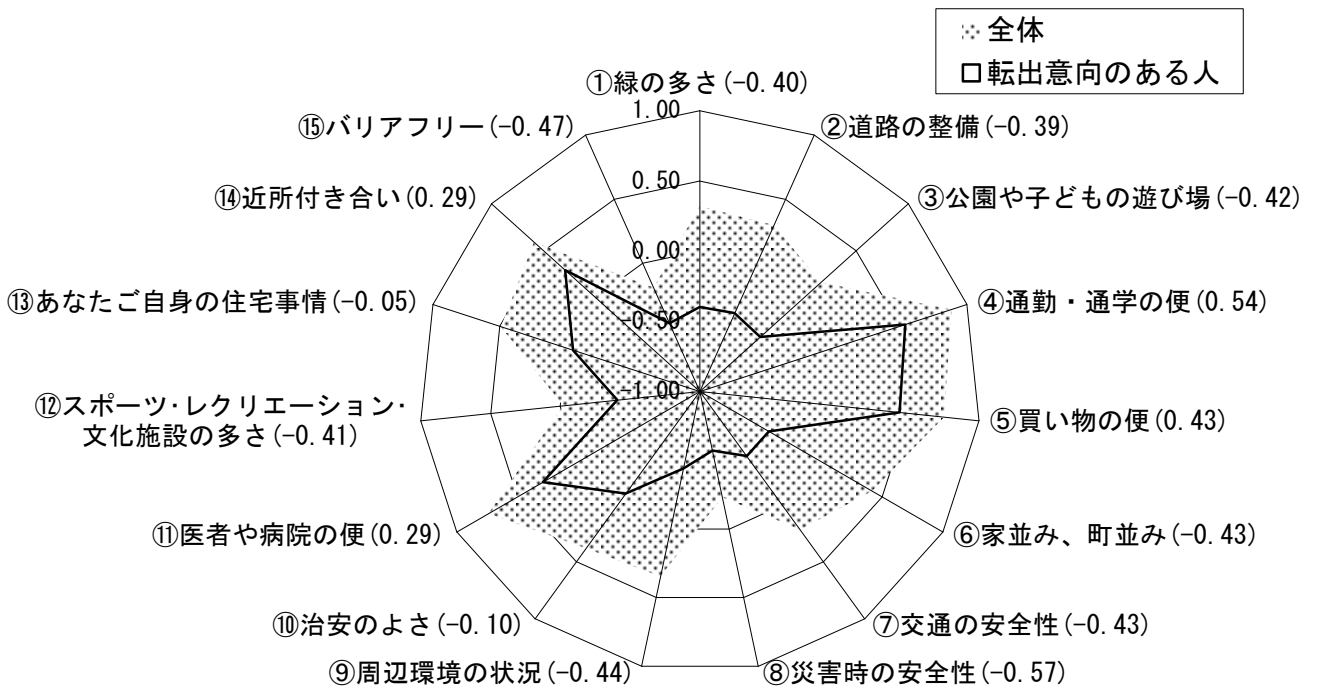


全ての項目で全体を上回っており、特に「あなたご自身の住宅事情」(0.59)と「周辺環境の状況」(0.45)がともに0.10ポイント上回って、評価が高くなっている。

一方、全体より評価は高いものの、“定住意向のある人”の中で評価の低い項目は、「災害時の安全性」(-0.19)、「バリアフリー」(-0.14)、「スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ」(0.04)の順となっている。

(2) 転出意向のある人

問2：「できれば大田区外へ移りたい」、「大田区外へ移りたい」と回答した人 (n=65)



全ての項目で全体を下回っており、特に「家並み、町並み」(-0.43)が0.85ポイント、「周辺環境の状況」(-0.44)が0.79ポイント、「緑の多さ」(-0.40)が0.72ポイント下回って、評価が低くなっている。

一方、全体より評価は低いものの、「転出意向のある人」の中で評価の高い項目は、「通勤・通学の便」(0.54)、「買い物の便」(0.43)、「医者や病院の便」(0.29)、「近所付き合い」(0.29)の順となっている。

### (3) 評価点一覧

問4 生活環境の満足度	全体 評価点	定住意向のある人 評価点	転出意向のある人 評価点
①緑の多さ	0.32	0.38	-0.40
②道路の整備	0.30	0.36	-0.39
③公園や子どもの遊び場	0.16	0.24	-0.42
④通勤・通学の便	0.89	0.94	0.54
⑤買い物の便	0.75	0.81	0.43
⑥家並み、町並み	0.42	0.51	-0.43
⑦交通の安全性	0.22	0.30	-0.43
⑧災害時の安全性	-0.23	-0.19	-0.57
⑨周辺環境の状況	0.35	0.45	-0.44
⑩治安のよさ	0.38	0.47	-0.10
⑪医者や病院の便	0.74	0.80	0.29
⑫スポーツ・レクリエーション・ 文化施設の多さ	-0.02	0.04	-0.41
⑬あなたご自身の住宅事情	0.49	0.59	-0.05
⑭近所付き合い	0.59	0.64	0.29
⑮バリアフリー	-0.19	-0.14	-0.47

「通勤・通学の便」、「買い物の便」、「医者や病院の便」、「近所付き合い」は定住意向の有無にかかわらずプラスの評価となっており、今後もこの水準を維持していきたい点と考えられる。一方、「災害時の安全性」と「バリアフリー」は定住意向の有無にかかわらずマイナスの評価となっており、改善が必要な点と考えられる。